

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第26回幹事会議事要旨

- 1 日 時 令和6年3月4日(月) 12時30分～13時30分
- 2 場 所 筑波大学東京キャンパス文京校舎 118講義室
- 3 出席者 寶(会長)、甘利(副会長)、遠藤(副会長)、岡島、石濱
オブザーバー 東京海上日動 林
陪席者 防災科学技術研究所 松室、松本
セコム 小松原
東京海上日動 川谷、柴崎、山田
筑波大学 大貫、栗原、酒井、根本

4 議 事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

(1) 令和6年度年間活動計画(案)について

遠藤副会長から、資料1に基づき次年度の活動計画について説明があり、第7回総会&参画機関見学会の開催地については、東京海上日動で開催することとなった。

【決定済み】

- ・第27回幹事会 令和6年4月22日(月) 13:30-14:30 オンライン
- ・第7回総会&参画機関見学会 令和6年5月27日(月) 14:00-17:00 東京海上日動(千代田区大手町)
- ・第28回幹事会 令和6年7月24日(水) 13:30-14:30 オンライン
- ・単独開催シンポジウム 令和6年10月18日(金) 13:00-17:00 東京地区(場所未定)
- ・第29回幹事会 令和6年10月18日(金) 時間未定 ※シンポジウムと同日開催
- ・第30回幹事会 令和7年2月10日(月) 13:30-14:30 オンライン

【未定】

- ・第17回運営委員会&参画機関見学会 令和6年11月 日時・場所未定(参画機関と個別相談)
- ・合同開催シンポジウム 令和7年2月 日時・場所未定
- ・第18回運営委員会&参画機関見学会 令和7年3月 日時・場所未定(参画機関と個別相談)

関連して、寶会長から次の説明があった。

- ・4月20日(土) 防災科学技術研究所の一般公開実施
防災関係に関心のある学生等に周知いただきたい

(2) コンソーシアムと筑波大生の交流企画について

遠藤副会長から、資料2に基づき交流企画の趣旨説明があり、企画内容・実施時期について意見交換が行われ、次のとおり合意された。

- ・3月6日(水)の運営委員会において各参画機関に意見照会
- ・幹事会としては「コンソーシアム参画機関によるインターンシップ説明会(6～7月開催)」を提案

(主な意見)

- ・岡島委員：就活時期が早まっており、多くの学生がM1の3月頃までに内定を得る。M1対象なら秋の開催は遅いため6～7月。学部生にも拡大するなら10～12月も考えられる。

- ・寶会長 : 6~7月 は M1 の学生にとって研究が始まって間もない時期であるため、学生の研究発表は難しいのではないかと。
- ・川谷氏 : 開催目的によって、適切な実施時期は異なると思われる。当社としては、最初の関係づくりであれば早い方がよく、本格的なマッチングなら3月頃。
- ・林氏 : 参画機関から学生にPRする場とするのが良さそうと思われる。6~7月に各機関のインターンシップを紹介してもらうのはどうか。
- ・石濱委員: 出来れば各機関既定のインターンシップではなく、本学学生向けに独自のインターンシップを紹介・実施していただければありがたい。
- ・寶会長 : 次回の運営委員会で他の機関にも意見を聞くこととして、幹事会としては「参画機関によるインターンシップ説明会の開催(6~7月)」を提案したいと思う。
- ・林氏 : シンポジウムを交流の場として活用するのも良い。会場で参画機関の若手社員が社名入りのネームタグを掲げ、学生が声を掛けやすくする等の工夫をしてみてもいい。

(3) 巨大災害研究会・R2EC 合同シンポジウム開催について

遠藤副会長から、資料3-1~2に基づき次の説明があった。

- ・東京・大阪・オンラインの3会場開催
- ・事前申込者数: 280名(東京43名、大阪13名、オンライン224名)

(4) JST 共創の場形成支援プログラム本格型昇格審査結果について

遠藤副会長から、次の報告があった。

- ・コンソーシアムが協力機関として関与していた「共創の場形成支援プログラム(共創分野・育成型)」の本格型への昇格審査が行われ、結果、不採択となった
- ・主な不採択理由: ビジネスモデルが明確ではなかった
- ・共創分野・育成型4事業のうち本格型昇格は1件(東北大学)
- ・育成型期間で培った事業構想と産学官連携を活かし、今後新たな公募型事業等に応募予定

(5) その他

特になし

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

(1) 令和6年度協働大学院教員及び非常勤講師について

岡島委員から、資料6-1~2に基づき次の報告があった。

- ・協働大学院教員: 12名全員継続予定
- ・非常勤講師 : 科目名変更あり(「セキュリティ論考特論」→「リスクと安心の科学哲学特論」)
 ※変更理由: 受講生から、情報セキュリティ分野に留まらない幅広い講義であることから、科目名を変更した方がより多くの学生の受講が見込まれるとの声があったため

(2) その他

- ・学位プログラムオープンキャンパスの開催について(4月21日)
 岡島委員から、開催日等の説明があった。

・令和 5 年度 前後期課程入試・修了者報告（参画機関関係）

岡島委員から、次の報告があった。

✧ 入試報告 ：後期課程 4 月入学予定者 14 名のうち、5 名が協働大学院教員を主指導教員に希望

✧ 修了者報告：後期課程 11 名修了予定

うち 1 名が参画機関所属者であり、1 年間の早期修了プログラムを修了

・その他

遠藤副会長から、次年度以降の筑波大学の体制が次のとおり内定した旨の報告があった。

✧ システム情報工学研究群長：遠藤 靖典（再任）

✧ 同研究群リスク・レジリエンス工学学位プログラムリーダー：岡島 敬一（再任）

以上